

多彩な農産物の生産が行われ、多様な農村地域がある神戸市の農業委員の地元を順次紹介していきます。

今回は神戸市西区の玉津町と、そこでがんばっている農家さんをご紹介します。

○玉津町

玉津町は、明石市の都心部に近く、古くから発展してきました。近畿地方で最も早くから水田稲作が行われており、町内全域から弥生式土器が出土しています。玉津町のほとんどは市街化区域に指定されていますが、町内には 80ha 以上の農地があり、都市と農業が調和しています。

○がんばる農業者 いけがみ よしたか 池上 義貴さん（炭育ち池上農園）

祖父の代から玉津町で農業を営む池上さんが農業を継いで 27 年になります。当初は小松菜を中心に慣行栽培をしていましたが、少しずつ有機栽培に取り組み、現在は葉物野菜を中心に、根菜、果菜など多種多様な品目を栽培し、そのほとんどが有機 JAS の認定を受けています。

工学部出身の池上さんは、自身の農業についての研究を理論的に進め、炭とスチーム（土壌表層 3cm 程度に対して）を使った独自の農法を開発しました。炭は土の性質の改善に、スチームは微生物の活性化をうながし、土が団粒構造になるそうです。

池上さんの栽培する野菜は、安全だけでなく、ビタミン C などの栄養価や抗酸化力も高く、栄養価成分を数値で評価するオーガニック・エコフェスタの栄養価コンテストで、池上さんの紫水菜は最優秀賞等を 4 年連続受賞し、食味も良いと評価されています。

人とのつながりを大事にしてきた池上さんは、都市の中の農業者として、地元の住民や企業と連携し、都市と農業の交流を深めています。今後は、農業サポーターを集めて、都市農業のあり方のモデルを示したいとのこと。

また、農業について研究も引き続き行い、将来的には、農業に関する生産から経営までのすべてのデータを収集、分析する研究所を立ち上げ、農業について楽しく考え続けていきたい、と情熱的に話されていました。



～Profile～

1962 年 1 月生まれ。葉物野菜を中心に、多様な品目を有機 JAS 認証を受けた方法で栽培している。



スチーム機と池上さん



池上さんが栽培している野菜（左：ツルムラサキ、中央：紫バジル、右：スイスチャード）